



有明

札幌市立有明小学校
学校便り(特別号)
令和6年10月7日



URL <https://www.ariake-e.sapporo-c.ed.jp/>

Tel:011-881-2949 Fax:011-881-9074

『令和6年度 全国学力・学習状況調査』結果概要のお知らせ

4月18日に全国の6年生を対象とした「令和6年度全国学力・学習状況調査」が行われました。本調査の結果に基づく本校の「課題」と「改善の方向性」をお知らせいたします。このうち、細かく見取った際に見えた課題については、学校全体の課題として捉え、今後の指導に生かしていきたいと考えております。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

個人の結果につきましては、既に各家庭にお知らせしております。6年生の結果分析をお知らせするとともに、毎年更新する『学ぶ力』の育成プログラムなどにおける実践を通して、今後も子どもたちの学力向上に努めていきます。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきますようお願いいたします。

教科に関する調査(国語・算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

全国の平均正答率と比較して、±3ポイント以内の差であるものは「ほぼ同程度だが、やや上回っている」「ほぼ同程度だが、やや下回っている」、3.1ポイント以上の差がある場合は「全国平均を上回っている」「全国平均を下回っている」としています。

【国語に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】

【知識及び技能】

- ◇『言葉の特徴や使い方に関する事項』
全国平均とほぼ同程度だが、やや上回っている。
- ◆『情報の扱い方に関する事項』
全国平均とほぼ同程度だが、やや下回っている。
- ◇『我が国の言語文化に関する事項』
全国平均とほぼ同程度だが、やや上回っている。

【思考力・判断力・表現力等】

- 『話すこと・聞くこと』
全国平均を下回っている。
- 『書くこと』
全国平均を上回っている。
- 『読むこと』
全国平均を上回っている。

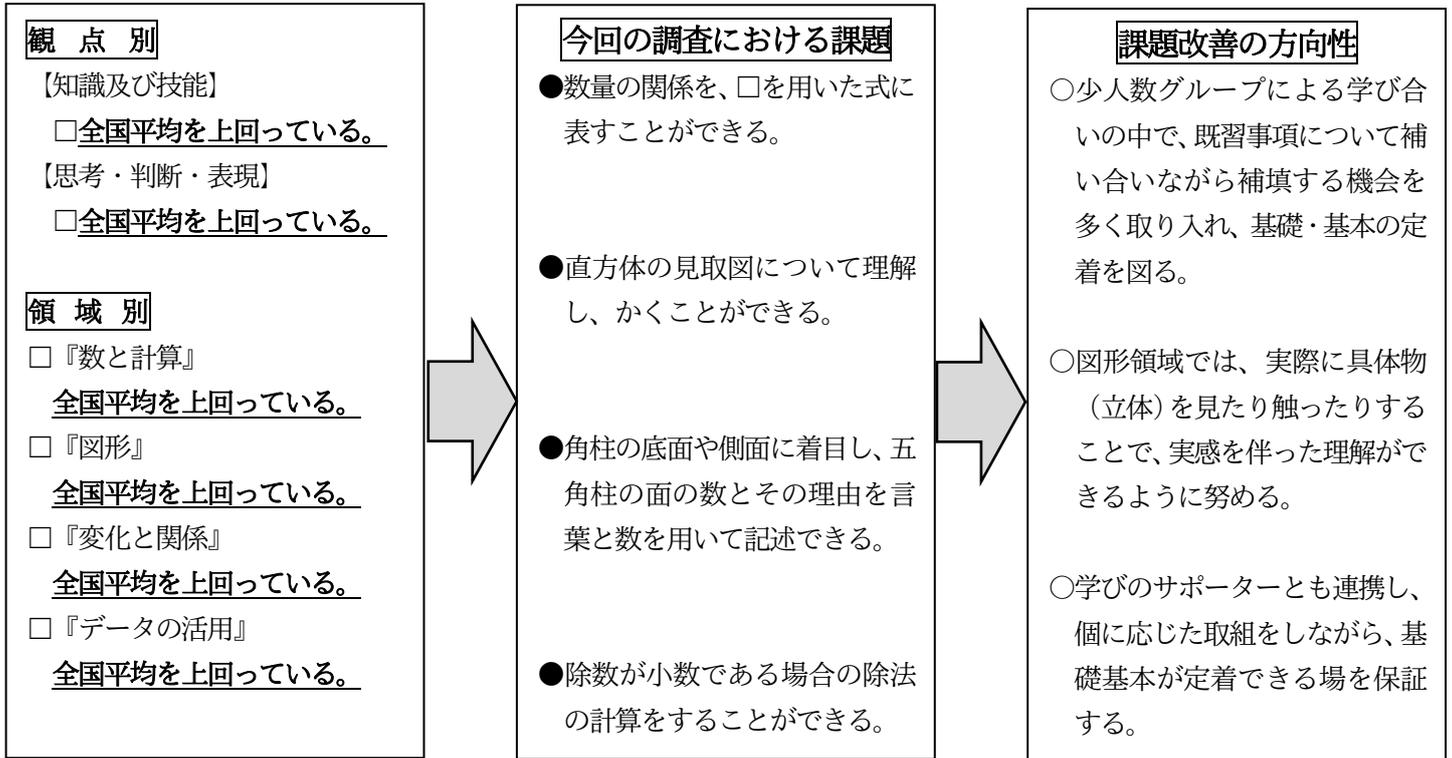
今回の調査における課題

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。

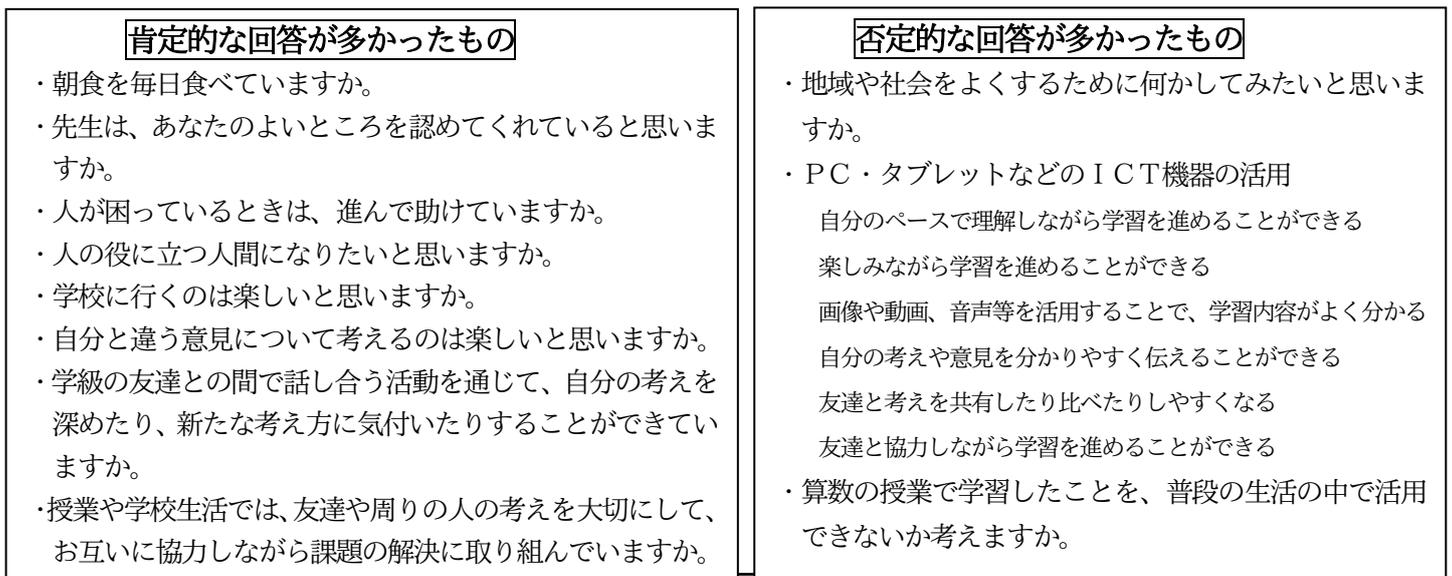
課題改善の方向性

- 与えられた資料から内容を読み取ること、複数の資料を見てその関係について考えることなどの経験を多く積ませる。
- 少人数グループによる学び合いの中で、主体的に自身の考えを整理しながら表出する機会を保障する。
- 目的に応じて、要旨を捉えながら文章を読んだり、自分の考えをまとめながら話したりする活動を重視していく。

【算数に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】



【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査にかかわって】



○ 基本的な生活習慣が身に付き、学習にも意欲的な傾向が見られます。一つの事象に対し、自分なりの考えをもって追求すること、友達と考えを交流すること、発展して次の課題に向かうことなど、日常の少人数での学習を生かした学びができています。国語の言語事項や算数の四則計算など、学習の基礎基本にはやや課題も見られます。□を用いた式などでの問題場面の意味理解なども努力を要する部分があります。個の力を伸ばす場面を大切に授業づくりをしていきます。

○ 「人が困っているときは、進んで助けていますか。」 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」 など、自己有用感・規範意識の部分は、少人数での「グループ学習」や全校での「たてわり活動」がベースになっていると考えています。しかし、気付きや思考を全体場で主体的に行動したり、自分の意見を表出したりすることには消極的な傾向にあります。行動の仕方について学んだり、成功体験を積み重ねたりしながら、安心して挑戦できるように支援していきます。

○ ICT機器の活用はまだ不十分な面もあります。個の技能は習得していますが、友達の考えをPC上で交流させたり、共有したものを活用してさらに取組を進めたりする経験は、学習の中でも積極的に取り入れていく必要があります。子どもたちの実態に合わせた授業改善に努めていきます。